

高知県健康経営事例紹介 高知家 健康経営アワード2018受賞

大旺新洋傑

社員の健康維持・増進を 会社が様々な取り組みでフォロー



代表取締役社長 小西 啓太氏

ホワイト500、 4年連続認定の実績

2016年から健康経営に取り組み、2018年度から5年連続で健康経営優良法人(大規模法人部門)の上位500社の「ホワイト500」認定も受けています。当社は公共性の高いインフラ整備を中心にした事業を行っており、上質のクオリティで納期を守るためには人材の確保が何よりも重要で、社員が安全かつ健康に過ごせるため健康経営を進めています。



【会社データ】

- ●業務内容:総合建設業
- ●創業:1951(昭和26)年
- ●社員数:434人 TEL.088-847-2112 FAX.088-837-6664 E-mail:soumu@daioh.co.jp



取り組みの きっかけ

高齢の社員や次世代のために 健康障害解消に挑む

健康経営の取り組みは2016年からで、当時は某大手企業の過労死事件を発端に長時間 労働の是正機運が高まっていました。長時間労働や休日出勤の解消は当社にとっても大 きな経営課題でしたが、業種柄、天気や受注条件などもあり前に進みませんでした。しか し、長時間労働だけでなく社員の高齢化、担い手不足も鑑み健康経営に着手しました。

取り組みの 内 容

健康数値の分析&改善策検討など さまざまな取り組みを実行

「健康経営戦略マップ」に基づき、保険組合とのコラボヘルス事業を通じて健康数値を分析し、有所見者への事後指導の徹底、再診状況の把握など改善策を検討実施。運動不足解消のためフィットネスクラブとの法人契約も締結しました。また社員が安心して働ける環境を整えるため、長期傷病休業時の所得補償「GLTD制度」も導入しました。

取り組みの 成果

自社保健師と社員の信頼関係や 健康数値の可視化が意識向上に貢献

特定保健指導を自社保健師が行うことで、受診率が向上。定期的な健康テーマの社内アンケート、受診率や受診結果を会社が把握し、適切な指導をすることで目に見えて受診率が上がっています。野菜の摂取量や「転倒等災害リスク評価」の測定などの可視化も効果があったと思います。2018年度からは常勤社員として雇用した保健師が各事業所に足を運び社員と真摯に向き合うことで、一人ひとりの健康意識の向上を実感しています。



今後の目標

社員が健康で働き続けられる エイジフレンドリー職場の実現を

最終的に健康の維持・増進ができるのは社員本人なので意識の浸透・向上を図りたい。 不安定な就業時間や単身赴任での不規則な生活リズム&食生活からの生活習慣病予 備軍が存在するので指導を行っていきたいです。数値目標としては肥満度を保険組合 平均(約40%)以下、特定保健指導実施率と人間ドック受診率を共に80%以上を目標に したいです。